

令和8年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門				
政策No	12	政策名	港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する	
所管部	産業・地域振興支援部		関係部	
2 政策のめざす方向性				
コロナ禍での商店街イベントの中止や外出抑制などにより、商店街を訪れる人の流れや消費行動が大きく変化しています。商店街が地域コミュニティの核として、将来にわたり地域のにぎわいを創出し、人々の生活を支える商業活動を継続できるよう、顧客ニーズを的確に捉え、外部環境の変化に即した支援を行います。商店街の活性化を担う人材の育成や商店会への加入促進、商店会の組織力向上、きめ細かな商品やサービスを提供する個性豊かで魅力ある店舗づくりを推進し、港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援します。				
SDGsとの関係	    			
3 成果指標【政策について満足している区民の割合】				
指標の推移		計画目標値	達成度※	※評価区分 A：達成（達成度が100%以上） B：相当程度達成（達成度が70%以上100%未満） C：未達成（達成度が70%未満）
現状値	実績			
令和2年度	令和7年度	令和8年度		
23.0%	33.6%	33.0%	A	
これまでの取組と成果	みなトクP A Yプレミアム商品券やポイント還元キャンペーンの実施支援により、地域経済の活性化へとつなげました。 直近、令和7年度は年間20億円分のプレミアム商品券発行支援により店舗の売上確保を図るとともに、みなトクP A Yを活用した年4回のポイント還元キャンペーンの実施を支援した結果、区内商店における新たな顧客獲得や消費喚起につなげました。			
課題と今後の方向性 ※未達成の場合は原因分析を含む	商店会活動を支える人材の不足や、物価高の影響による売上や採算の確保は厳しい状況にあり、必要な支援策を継続的に講じていく必要があります。 引き続き、プレミアム商品券の発行やポイント還元キャンペーンを効果的に実施することで、みなトクP A Yを地域通貨として定着させ、商店会の会員確保や年間を通じた消費喚起を図り、地域経済の活性化や商店街のにぎわい創出へとつなげていきます。			
4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）				
No	施策名	成果指標	施策評価	
①	魅力あふれる商店街の支援	自宅周辺商店街のにぎわいの状況（「にぎわっている」「まあにぎわっている」と回答した人の割合）	C	
②	商店会の組織力の向上	港区商店街連合会に加入している商店会数 商店会に加入している店舗数	A	
③	将来にわたり持続可能な店舗づくり	直近の売上高が3年前と比較して増加した店舗等の割合	A	

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	747,517	1,411,244	1,155,708
流用・補正	903,904	3,338,893	－
決算額	673,924	3,953,053	－
執行率	40.91%	83.22%	－

6 政策を取り巻く社会経済情勢等	
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	新型コロナウイルス感染症の影響により自粛していた商店街イベントは活動を再開しており、まちのにぎわいは戻りつつある一方、活動を支える担い手の不足が課題であるとともに、猛暑や集中豪雨などの異常気象への対応が求められています。さらに長引く物価高騰の中、区内商店をはじめとする地域経済の活性化を下支えするため、消費喚起策を的確に実行する必要があります。
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見 など	港区産業振興プラン策定に係る基礎調査において、区民にみなトクP A Yに期待することを尋ねたところ、「ポイント還元率をあげてほしい」「キャンペーンの頻度を増やしてほしい」という意見が多く、消費喚起施策としてみなトクP A Yポイント還元キャンペーンの拡充のニーズが一定程度あると見込まれます。

7 所管課による評価【一次評価】	
政策の達成状況	みなトクP A Yの運用支援をはじめとした商店会への支援を着実に実施した結果、商店会会員数の増加や新たな商店会の設立といった成果が見られました。さらに、みなトクP A Yを活用したプレミアム商品券の発行支援や、ポイント還元キャンペーンなどの消費喚起事業を通じて、区内店舗の売上確保や新たな顧客獲得に継続的に取り組んできた結果、売上高が増加した店舗の割合は増となるなど成果を上げています。 また、商店街のにぎわいを形成するイベント運営に関するボランティア派遣については、当初設定した計画目標値には達していないものの一定の成果をあげています。
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	年間20億円以上のプレミアム商品券発行支援による継続的な売上確保策に加え、みなトクP A Yを活用した年4回のポイント還元キャンペーンを実施し、区内商店会への来街機会の創出と消費喚起を図ったことが、新たな顧客獲得や区内店舗の利用促進につながっています。 一方で、近年の異常気象の影響もあり、商店街イベントの実施条件は厳しさを増しており、まちの賑わいの創出に寄与する商店街活動の継続性を下支えすることが、魅力あふれる商店街の支援に必要不可欠となっています。
課題と今後の方向性	みなトクP A Yを活用したプレミアム商品券の発行やポイント還元キャンペーンを切れ目なく実施することで、継続的な消費喚起を図り、地域経済の活性化を推進してまいります。 あわせて、みなトクP A Yの取扱い効果や個店向け補助金など、商店会加盟のメリットを効果的かつ的確に発信することで、各商店会の会員確保を促進し、持続可能な商店会・店舗運営を後押しします。 さらに、担い手不足の中で限られた人員により運営されている商店会活動に対し、ボランティア派遣等の人的支援の充実を図るとともに、猛暑や豪雨などの異常気象への対応を含め、商店会イベントを持続的かつ安定的に実施できるよう有効な補助事業を提供し、にぎわいの維持・強化に取り組めます。 また、港区商店街連合会を中心に、区内商店会の魅力発信や、区全域を対象とした広域的なにぎわい創出事業の展開に向け、連携体制の強化を図ります。

8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】	
評価	B：政策目的を相当程度達成
政策の達成度	・みなトクP A Yポイント還元キャンペーン終了後の売上げや客足の変化について定量的なデータが不足しており、施策の持続的な効果を正確に評価できない点は課題です。 ・個別の施策評価は、キャンペーンなど一時的な要因に影響されている可能性があり、商店街の持続可能性や組織力向上といった本質的な視点を持って評価する必要があります。 →以上を踏まえ、評価は「B」とします。
MINATOビジョン策定に向けた今後の政策の方向性 ・重点的に取り組むべき施策 など	・商店街支援の目的が曖昧であるため、政策の方向性をより明確化する必要があります。 ・昨今のビジネスはユニークでないと継続することは困難であり、区のサポートについても、幅広い支援に加え、明確な方向性を打ち出した支援を進めていく必要があります。 ・将来にわたり地域のにぎわいを創出し、人々の生活を支える商業活動を継続できるよう、顧客ニーズを的確に捉え、外部環境の変化に即した支援を行う必要があります。

施策評価シート

政策No	12	政策名	港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する
施策No	①	施策名	魅力あふれる商店街の支援
目標・期待する成果	地域資源を生かした魅力あふれる商店街イベントの開催や、コロナ禍における区民の暮らしの変化を踏まえた誰もが利用しやすい商店街のにぎわいづくりを支援することで、区内外から商店街に多くの人々を呼び込み、商店街の振興と地域社会全体の活性化につなげます。		
SDGsのゴールとの関係	  		
施策担当課	産業振興課		関係課 観光政策担当

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
自宅周辺商店街のにぎわいの状況（「にぎわっている」「まあにぎわっている」と回答した人の割合）		43.5%	39.4%	-	45.0%	45.0%	50.0%
	達成度	当該年度の実績と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	-	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い増加した来街者や外国人観光客を街に取り込むため、商店会イベント実施の支援に加え、年2回のプレミアム商品券の発行支援等を通じ、街のにぎわいの創出及び消費喚起に積極的に取り組みました。			指標値については、令和7年度に実施する産業振興プラン策定に係る基礎調査において集計、把握してまいります。更なるにぎわいを街にもたらしことを目指し、プレミアム商品券及び令和7年度に始まる地域通貨事業への支援に取り組めます。		
令和7年度	c	商店街イベントの実施支援や、みなトクPAY運用支援によるポイント還元キャンペーン等の消費喚起策に加え、商店街バスラセプログラム事業におけるSNSを活用した商店会PRに取り組み、商店街のにぎわい創出を推進しました。			商店街バスラセプログラム事業を通じた、商店会を来訪する新たな客層（若年層の女性など）の掘り起こしに取り組んでいますが、反響を確認できる水準での成果は出ていません。発信媒体や投稿内容を分析し、最適なPR手法を選択し、改善を図ります。		
令和8年度	c	みなトクPAYプレミアム商品券やポイント還元キャンペーンを年間を通じて実施支援し、地域経済の活性化へとつなげるとともに、商店街イベントへのボランティア派遣（スマイル応援団）を通じて運営負担の軽減と事業継続力の向上を図り、誰もが利用しやすく、区内外から多くの人を呼び込む商店街のにぎわいづくりを支援します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和 8 年度は見込み）			
		令和 2 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和 6 年度							
令和 7 年度							
令和 8 年度							

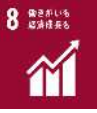
a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	C：計画目標を達成できない
施策の達成状況	プレミアム商品券の発行やポイント還元キャンペーンの実施などを通じて、商店街での積極的な消費喚起へとつなげました。また、商店街のにぎわいを形成するイベント運営には人的負担が生じることから、負担を軽減するためボランティア派遣を行いました。当初設定した計画目標値には現時点で達しておらず、達成状況は計画目標値比の90%にとどまる見込みであり施策の評価はCとなりますが、商店街のにぎわい創出に向けた様々な施策が着実に進行しています。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	長引く物価高騰により区民の消費行動が慎重となる中、商店街においても原材料費や人件費の上昇が事業運営に影響を及ぼし、イベント規模の縮小や実施回数の抑制を余儀なくされる場面が見られたことに加え、人材不足により新たな取組への対応が難しい商店街も存在したことから、当初想定していた成果目標値には至りませんでした。
MINATOビジョン 策定に向けた課題と 今後の方向性	物価高騰等による消費行動が抑制される中、みなトクP A Yを活用したプレミアム商品券発行やポイント還元キャンペーンを実施することで、さらなる消費喚起や地域経済の活性化につなげます。また、比較的規模が小さくイベント運営への負担が大きくなる商店会に向けて、イベント支援の補助の拡充や、ボランティア派遣等の支援方法を工夫し、にぎわいの維持、強化に取り組めます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	12	政策名	港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する
施策No	②	施策名	商店会の組織力の向上
目標・期待する成果	各地区で商店会活動を担う人材との協働により区全体の商店街活性化施策を検討し、実行することで、区内各地でのにぎわい創出と商店街事業に携わる人材の育成を行います。また、各店舗が商店会に加入するメリットや店舗が集まり新たに商店会を結成する手順等を丁寧に周知するなど、商店会への加入・結成促進を図ります。		
SDGsのゴールとの関係	   		
施策担当課	産業振興課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
港区商店街連合会に加入している商店会数		55団体	55団体	54団体	57団体	58団体	58団体
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	商店会にとって継続が厳しい状況が続いていますが、電子商品券のアプリ化、総額20億円のプレミアム商品券の発行に加え、港区商店街連合会事務局長採用の支援を行い、港区商店街連合会の安定した組織体制維持に取り組みました。			新規商店会の設立の動きもある一方、後継者不足や再開発の影響を受け、商店会は厳しい状況におかれており、解散を検討する声も届いておりますが、地域通貨事業など、港区商店街連合会に加入するメリットの訴求に引き続き取り組んでまいります。		
令和７年度	a	みなトクP A Yの取組が進展し、利用する区民が増加するにつれて、商店会加盟が取扱いの条件の一つとなることから、これまで商店会がなかったエリアにおいても新たに商店会が設立され、港区商店街連合会に加入する商店会が３商店会增加するなど、商店会組織の活性化や強化に結びついています。			引き続き、みなトクP A Yの運用支援を行うとともに、商店会の新規設立や活動継続を後押しし、持続可能な商店会活動と区内商店街全体の活性化につなげていきます。港区商店街連合会への加入商店会数の増に伴い、事務局の負担も増大していることから、事務局体制の増強も含めた更なる支援が必要です。		
令和８年度	a	各商店会向けの補助金支援の拡充に取り組み、イベント実施時の熱中症対策経費や若手・女性が主体となり運営する事業への補助率を引き上げ、商店会活動の活性化を促進します。また、事務局員１名の採用に係る経費を支援し、組織力の向上につなげています。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
商店会に加入している店舗数		2,805店	2,771店	2,803店	2,939店	2,950店	2,900店
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	加盟店舗を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、商店街イベントやプレミアム商品券発行支援に加え、店舗向け補助制度の拡充等に取り組んだ結果、加盟店舗数を増加させることができました。			物価高騰や後継者不足といった影響により、加盟店舗は厳しい状況におかれています。各店舗が商店会員として事業を継続できるよう、みなトクPAYを活用したポイント還元キャンペーンにおける区商連加盟店舗の優遇策等に取り組んでまいります。		
令和７年度	a	みなトクPAYのプレミアム商品券やポイント還元キャンペーンなどの取組が浸透するにつれて、これに起因し、参画店舗や商店会員の増加につながっています。 また、商店会加盟店舗を対象とした区の補助制度を提供することで、加盟店舗数を増加させることができました。			加盟店舗数の増加など一定の成果が見られる一方、物価高騰や人材不足により商店街や加盟店舗を取り巻く環境は依然として厳しいことから、引き続き商店街イベント支援やプレミアム商品券発行支援に加え、みなトクPAYを活用した取組や魅力発信を推進することで、加盟店舗の定着と商店街活動の持続的な活性化を図っていきます。		
令和８年度	a	みなトクPAYによるプレミアム商品券の発行やポイント還元キャンペーンの実施を通じて、売上向上や誘客に効果のあるツールであることを区内店舗に認知いただき、取扱要件の一つとなる商店会加盟を効果的に促していきます。合わせて、区の補助制度などの支援策も分かりやすく案内し、加盟のメリットを丁寧に伝えてまいります。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	成果指標①②について、みなトクPAYの運用支援をはじめとした商店会への支援を着実に実施した結果、商店会員数の増加や新たな商店会の設立といった成果が見られ、区内各地におけるにぎわい創出と商店会活動の裾野拡大が進んでおり、当初目標を達成する見込みです。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	港区商店街連合会事務局や各商店会関係者との連携を図りながら、みなトクPAYを活用するメリットや商店会加盟により受けられる区の支援策（補助制度など）を分かりやすく周知したことが、商店会員数の増加や新たな商店会の設立につながり、当初目標の達成に寄与しました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	物価高騰や人材不足等店舗を取り巻く環境に課題のある状況下において、さらなる商店街活性化を目指し、みなトクPAYに係るポイント還元キャンペーン等のPR施策の積極的な実施により、加盟店舗の拡大を目指すとともに既会員店舗の定着化に努めます。 また、バズらせプログラム事業などでの効果的なPR周知により、区内商店会や店舗の魅力発信を行い、商店会の加入を促進します。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	12	政策名	港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する
施策No	③	施策名	将来にわたり持続可能な店舗づくり
目標・期待する成果	インターネット販売の普及、テレワークの浸透、人手不足をはじめとしたコロナ禍における社会情勢の変化等を踏まえ、区内商店会に加入する店舗の新たな顧客獲得や省人化、効率化など事業継続・売上確保のための取組を支援し、店舗の魅力を高めるとともに、店舗情報を広く発信することにより、消費拡大につなげていきます。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	産業振興課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
直近の売上高が３年前と比較して増加した店舗等の割合		13.9%	10.8%	-	38.8%	38.8%	17.5%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和６年度	a	年間20億円分のプレミアム商品券発行支援により、店舗の売上確保に取り組むとともに、令和７年４月に実施する消費喚起事業「みな得ポイント還元キャンペーン」の準備を進めました。			指標値については、令和7年度に実施する産業振興プラン策定に係る基礎調査において集計、把握してまいります。 令和７年度に開始する地域通貨事業を積極的に支援し、店舗の売上確保を目指します。		
令和７年度	a	年間20億円分のプレミアム商品券発行支援により店舗の売上確保を図るとともに、みなトクPAYを活用した年４回の還元キャンペーンの実施を支援した結果、新たな顧客獲得や消費喚起につながり、区内店舗の事業継続と消費拡大に一定の成果が見られました。			長引く物価高騰により区内店舗を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあることから、引き続きみなトクPAYを活用した消費喚起事業を通じて店舗の売上確保を図るとともに、商店街バスラサプログラム事業や商店グランプリ事業を通じて、店舗の魅力や情報発信の取組を推進し、新たな顧客の獲得と売上確保につなげます。		
令和８年度	a	プレミアム商品券の発行額を増額することに加え、年間を通じたみなトクPAYポイント還元キャンペーンの実施を通じて、新たな顧客の獲得や来街機会の創出を図り、区内店舗の事業継続と消費拡大につなげます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	成果指標①について、みなトクP A Yを活用したプレミアム商品券の発行支援や、ポイント還元キャンペーンなどの消費喚起事業を通じて、区内店舗の売上確保や新たな顧客獲得に継続的に取り組んできた結果、売上高が増加した店舗の割合は増となるなど一定の成果が見られ、当初目標は達成できる見込みです。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	年間20億円以上のプレミアム商品券発行支援による継続的な売上確保策に加え、みなトクP A Yを活用した年4回の還元キャンペーンを実施し、区への来街機会の創出と消費喚起を図ったことが、新たな顧客獲得や区内店舗の利用促進につながりました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	人材不足や物価高など採算や売上の確保に課題のある区内商店の景況を踏まえ、引き続き、プレミアム商品券の発行支援や、みなトクP A Yポイント還元キャンペーンの効果的な実施により、区民や来街者の消費喚起を図ることで、区内店舗の事業継続・売上確保を支援します。また、SNS投稿やPR動画の放映、店舗表彰等の実施により、区内店舗の魅力向上及び発信を推進します。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）